

**減災・医療分野で幅広く活躍できる人材育成を目指し
実務経験者のキャリアアップを支援する。**

名古屋市立大学大学院医学研究科修士課程

減災・医療コース

《 《2022 年度奨学金制度を創設》 》



画像:医学部附属病院「救急災害医療センター」2025 年竣工予定

中部圏では南海トラフ巨大地震の発生が懸念されるなか、「減災」は大きな課題です。本学は現在、附属病院に「救急災害医療センター」の 2025 年竣工を目指し建設を進めています。また名古屋市立大学附属東部・西部医療センターは災害拠点病院であり、東部医療センターは救命救急センターを有します。さらに、本学の「第三期中期目標」では「救急医療及び災害医療の拠点として市民の命を守るための機能を強化する」ことが掲げられています。

1. 修士課程に入学

本コースは大学院修士課程に設置された「減災・医療」に特化したコースであり、修士課程に入学する必要があります。修士課程入学後に本コースを選択します。

2. コースの概要

本コースは、減災・医療を担う人材のキャリアアップを支援する教育システムをつくり、質の高い教育を実践するとともに、関連した研究を推進することを目的としています。

3. コースの特色 (必修科目)

- 減災・医療コースに限定した救急・災害医療を専門的に履修する科目(3科目:夜間)
- 修士課程学生として基本的に履修する科目(2科目:昼間)

4. コースの対象となるキャリア

- 救急救命士、看護師、理学療法士、作業療法士、臨床工学技士などの医療関係者。
- 消防士、警察官、自治体職員・企業の災害担当者等で実務経験を持つ者。

5. 学修課程と学位

本コースに2年以上在学し、下記の修士課程修了要件を満たすと修士号(医科学)が授与されます。

- 単位を取得
 - ★共通教育科目 14 単位(「3.コースの特色」の5科目:10 単位を含む。)
 - ★専門演習および特別研究 16 単位
- 学位論文を提出し審査に合格

6. コースに特化した奨学金制度

このコースを対象とした奨学金制度があります。(審査があります。)

1名1学年60万円。最大給付期間2年間。(1学年2名)

(注)奨学金は令和10年度入学者までを対象としている。

問い合わせ先

名古屋市立大学大学院医学研究科・医学部 医療人育成課 大学院担当
〒467-8601 名古屋市瑞穂区瑞穂町字川澄1
電話:052(853)8545・8546
Email:med-daigakuin@sec.nagoya-cu.ac.jp